

# ひもときシート：事例概要記入用紙

タイトル： 怪我やヒヤリハットすることが絶えないAさん

. 事例の状況		
<p>グループホーム入居当初のころは、不安定ながらも自力歩行できていた。しかし、徐々にふらつきや転倒、ベッドからのずり落ちなど下肢筋力の低下、バランスの不均衡が目立つようになる。歩行器の使用や夜間ポータブルトイレの使用を勧めるも、急な立ち上がりや歩き出し、方向転換、腰くだけがあるために、絶えず目が離せない状況になる。最近では、行動がせっかち、粗雑化が加速し、他人からの抑止が効かない状況である。食事は熱いものや量を多く口の中に入れむせる、割り箸で唇を突いて怪我をしても食べ続ける、入れ歯が気になり出し入れを繰り返し破損する、夜間ポータブルトイレの移乗を繰り返し、座り損なうなどの事故、ヒヤリハットすることが頻発している。ケアスタッフは、大事故につながらないように気が抜けない。Aさんは、そのことを察知してか精神状態が落ち着かないと、昼夜とも排尿回数が増え、トイレの行き来を繰り返している。</p>		
. 提出者自身を感じている事例の課題		
<p>スタッフが予測していないことが突発的に起き、繰り返されるため、目が離せない。また、言動による危険回避が効かないので、環境整備やマンツーマン対応を行うも、Aさん、介護スタッフ共にストレスが溜まる状況にある。従って、大きな事故につながる可能性がある。</p>		
. キーワード		
ヒヤリハット。		
. 事例概要		
年齢・性別	90歳代前半 女性	
職歴	専業主婦	
家族構成	夫は1年前に死去（死去6ヵ月前 当ホームで一緒に過ごす） 子供は2男1女（別居）	
認知機能	入居時 HDS - R 11点 現在 HDS - R 8点	
要介護度	要介護3	
日常生活自立度	障害老人自立度	A1
	認知症老人自立度	a
ADLの状態	食事の様子	一部介助
	排泄の様子	一部介助
	移動の様子	一部介助
	着脱の様子	一部介助

	入浴の様子	全介助
	整容の様子	一部介助
認知症の診断名	老人性認知症	
現病・既往歴	<b>【現病】</b> 脳梗塞後遺症・パーキンソン病・高血圧症 <b>【既往歴】</b> 脳梗塞・うつ病	
服用薬	メネシット・エクセラゼ・プロプレス・セルシン・アジャストコーワ	
コミュニケーション能力	一方的に固執したことを繰り返し話す。他者の言葉が聞き入れにくい。	
性格・気質	せっかち・負けず嫌い	
生きがい・趣味	読経・競い合うゲーム・カルタ・歌を口ずさむこと	
生活歴	本人とは対照的な、ゆっくりマイペースな夫と暮らす。戦争体験（外地からの引き揚げ）の話をする。	
人間関係	他者との会話は少ないが、人が歌っていると一緒に口ずさむ。週1回の息子たちの来訪は喜んでいる。	
本人の意向	自分の意のままに過ごしたい。 「ここに泊めてもらえますか。」と毎晩言う。	
事例の発生場所	グループホーム	